

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成22年7月29日 (2010.7.29)

【公表番号】特表2009-540278(P2009-540278A)

【公表日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-513608(P2009-513608)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 33/574 Z N A A

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 15/00 C

C 1 2 P 21/08

C 1 2 N 5/00 B

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月27日 (2010.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アネキシン A 3 の存在及び / 又は量について、他のアネキシンに対して低い交差反応性を有するアネキシン A 3 に特異的な抗体を用いて試料を分析する、癌の診断方法。

【請求項 2】

癌が、尿生殖器及び / 又は消化管路の癌、特に前立腺癌である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

抗体が、モノクローナル抗体、特にキメラの又はヒト化したか又はヒトのモノクローナル抗体である、請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】

抗体が、アネキシン A 3 の N 末端に、特に、ヒトのアネキシン A 3 のアミノ酸 1 ~ 16 の領域内のエピトープに対して指向している、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

抗体が、ハイブリドーマ細胞系列により産生された抗体 tgc 5 ProII6G7 (DSM ACC2788) , tgc 6 ProIII1G11(DSM ACC2779) , tgc 7 ProVII5C5 (DSM ACC2780) , tgc 8 ProIII1E1(DSM ACC2781) , tgc 13 ProI/5G9, tgc12 ProIII/4B11 , tgc 14 ProVIII/3D7又はアネキシン A 3 上の同じエピトープに結合する抗体から選択されている、請求項 1 から 4 までの

いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

抗体が、

(i) V R D Y P D F S P S V D (配列番号 1)、

(i i) M L I S I L T E R S N A (配列番号 2)、

(i i i) G D F R K A L L T L A D G R R D E S L K V D E H L A K Q (配列番号 3)、

(i v) K L T F D E Y R N I S Q K D I V D S I K G E L S G (配列番号 4)、

(v) I M V S R S E I D L L D I R T E F (配列番号 5)、

(v i) Y S A I K S D T S G D Y E I T L L (配列番号 6)

又は、少なくとも 6 アミノ酸の長さを有するこの部分的な連続配列

から選択される配列を含む、アネキシン A 3 上のエピトープに対して指向されている、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

細胞外アネキシン A 3 の存在及び / 又は量及び / 又は細胞内アネキシン A 3 の存在及び / 又は量を決定する、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 8】

診断が、この疾病段階の決定を含み、有利にはこの際、前癌段階及び癌段階の間の少なくとも 1 つの区別化を実施する、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 9】

他のアネキシンに対して低い交差反応性を有する、アネキシン A 3 に対して特異的な少なくとも 1 つの抗体を含有し、有利には抗体が請求項 3 から 6 までのいずれか 1 項に記載のものである、前立腺癌の診断のための試験剤。

【請求項 10】

癌の治療のための医薬品の製造のための、他のアネキシンに対して低い交差反応性を有するアネキシン A 3 に対して特異的な抗体の使用であって、有利には抗体が請求項 3 から 6 までのいずれか 1 項に記載のものである使用。

【請求項 11】

癌の治療のための医薬品の製造のための、他のアネキシンに対して低い交差反応性を有するアネキシン A 3 に対して特異的な抗体を活性剤として含有し、有利には抗体が請求項 3 から 6 までのいずれか 1 項に記載のものである医薬組成物。

【請求項 12】

他のアネキシンに対して低い交差反応性を有し、有利には請求項 3 から 6 までのいずれか 1 項に記載のものである、アネキシン A 3 に対して特異的な抗体。

【請求項 13】

請求項 12 記載の抗体を産生する細胞。

【請求項 14】

免疫化剤の製造のための、天然のヒトのアネキシン A 3 の使用。

【請求項 15】

ヒトのアネキシン A 3 に対して指向したヒトの抗体を産生するための方法において、この抗体をヒトの試料から産生することができる B 細胞を単離し、この抗体をこの B 細胞又は細胞、例えばこの細胞に由来するハイブリドーマ細胞から獲得することを含む、ヒトのアネキシン A 3 に対して指向したヒトの抗体を産生するための方法。